



西日本研修センターにおける 新規研修の取組み



情報通信エンジニアリング協会
研修部 西日本研修センター

1. はじめに

西日本研修センターでは、通信技術の進歩やNTT様等の要望に対し応えるため研修コースの新設、改善に取り組んでいるところですが、今年度新たに開設した「管理系1科班」「NW系2科班」「宅内系3科班」研修について紹介します。

2. 管理系研修

■災害対策科

災害対策研修については、東日本大震災（H23.3.11）の教訓を踏まえ、「大規模災害対策科（先遣隊・調査隊）」を実施してきたところですが、さらに震災の教訓を活かし多くの対策やマニュアル等が整備されてきたことから、研修内容を見直し「災害対策科」として科班を新設しました。

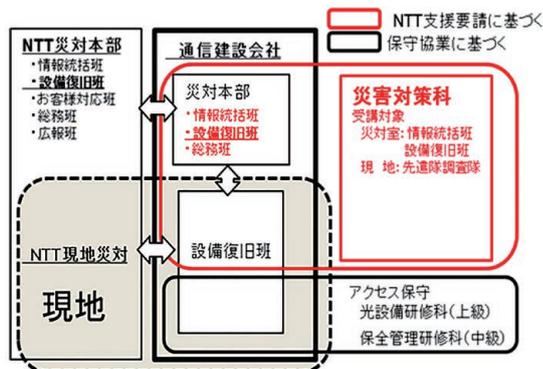
(1) 研修の目的

自然災害（地震・台風等）において、被災した電気通信設備等を迅速に復旧するため、NTT様からの支援要請に基づき、初動措置および応急復旧の的確な指示と行動ができる指導者（リーダー）の育成

(2) 対象者・研修概要

- ① 災対室および現地において迅速な復旧に向けた確かな指導検討ができるリーダーとなり得る者（部課長等）
- ② 災害時における、被災状況の現地把握および復旧方法の指示、通建本社災害対策室との窓口、調整の役割について修得

(3) 研修の位置づけ



(4) 実施日時 10月25日（1日間）

(5) 受講者数 20名

(6) カリキュラム

	カリキュラム（研修内容）
[9:00~9:10]	オリエンテーション 1. 告知事項 2. 研修スケジュール等の説明
1時限目 2時限目 「産学」 [9:10~10:50]	1 災害時における初動措置・復旧手順について (1) NTT西日本災害対策規定 (2) 災害対策初動措置マニュアル (3) 応急復旧方法について (4) NTTよりの支援要請（通信建設会社の役割）
3時限目 「産学」 [11:00~12:00]	特別講話 「阪本大震災（28.4.14）等の復旧を経験して」
	休 憩
4時限目 「産学」 「演習」 [13:00~13:40]	初動措置演習 1. 安否確認 2. 体制確立 3. 情報収集 4. NTTとの対応、支援要請
5時限目 「産学」 [13:40~14:20]	1. 先遣隊・調査隊の出動 (1) 被災状況確認 (2) 先遣隊・調査隊の役割 (3) 行動目的と調査 (4) 持参品
6時限目 「演習」 [14:30~16:30]	2. サービス復旧に向けた演習 (1) サービス復旧工程算出 (2) 材料・稼働算出
[16:30~16:50]	告知・アンケート等

(7) 研修模様



■指定公共機関とは

■NTTの位置づけ
国が定める災害対策基本法においては公益的事業を営む法人等のうち内閣府大臣が指定するものを指定公共機関と位置付けており、当該法人等は防災業務計画の策定をはじめとして、災害予防・応急・復旧等において重要な役割を担う。

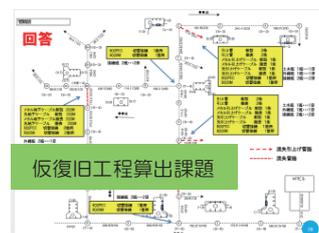
国や地方公共団体と協力して緊急事態などに対応する機関。
医療・電気・電気通信・放送・ガス・運送事業者などで災害対策基本法・国政保護法・武力攻撃事態法などでそれぞれ指定されている。

※詳しくは、通信建設会社（NTTグループ）協力会社として、重要な役割を担っている

7-1 NTT西日本(株)様による災害対策規定等講話



7-2 (株)SYSKEN様による特別講話



7-3 サービス回復に向けた演習

3. 宅内系研修

■ビジネスホン研修の充実

(1) 研修の目的

ビジネスホンSmart Netcommunity αA1の販売拡大に併せ、従来の研修体系を見直し、ビジネスホンの建設・保守に向けた技術スキルを修得

(2) 対象者

通信機器工事、保守業務の従事者、または、ビジネスホン建設工事、保守業務に今後携る予定の方

(3) 研修内容

ビジネスホンの中級コースとして建設だけでなく故障事例も取り入れた保守に対応できる技術スキルを修得する内容とし、研修に参加しやすい2日間の日程

(4) 研修実施結果

αA1応用技術研修科には、お客様視点に立った販売提案を実施するために営業系社員の参加もありました。



研修コース	ビジネスホン		実施日 受講者
ビジネスホンαA1 スタンダード 基礎技術研修科 (2日間)		スタン ダード	H29.6月 15-16日 11名
ビジネスホンαA1 応用技術研修科 (2日間)		プロ フェッ ショナル	H29.9月 21-22日 11名
ビジネスホンαNX S/M 建設・保守 技術研修科 (2日間)			H29.9月 12-13日 13名



【研修模様】

■平成30年度新規研修

・複合機基礎技術研修科 (XEROX、東芝、シャープ)

※複合機: 複写機 (コピー)・プリンター・スキャナー・FAX (ファクス) などの機能が一つにまとめられている機器

4. 所内ネットワーク系研修

■IP通信ネットワーク技術 (基礎)

(1) 研修の目的

実際に工事対象となるNGN等NTTサービスの各種IP

系装置について役割、機能を理解しネットワークの全体像を修得

(2) 対象者

- ・NGN等NTTのIP通信ネットワーク設備 (スイッチ、ルータ装置等) の工事に携わる方
- ・IP通信ネットワークの全体概要を知りたい方

(3) 実施日時、研修人員

7月4日 (1日間) 受講者数 8名

(4) カリキュラム (研修内容)

IP通信装置の概要について解説

- ・パケット通信概要 (スイッチ、ルータの機能)
- ・シミュレータによるスイッチ、ルータの設定・動作デモ

■無線装置概説 (基礎)

(1) 研修の目的

無線技術、無線装置の役割・機能の全体像等、基本的な知識の修得

(2) 対象者

- ・異動等で初めて無線関連装置の工事に従事する方
- ・無線装置の全体概要を知りたい方

(3) 実施日時、研修人員

6月29日 (1日間) 受講者数 7名

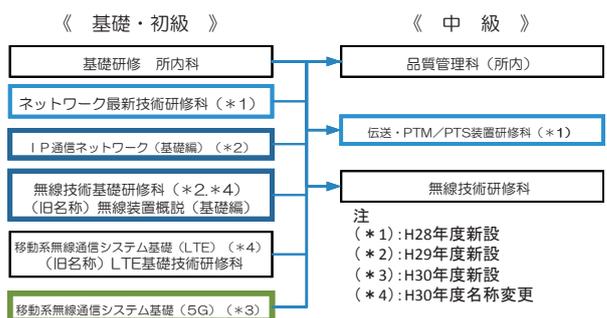
(4) カリキュラム (研修内容)

無線技術、無線装置の役割、機能の全体像を解説

- ・電磁波 (電波・光) とは
- ・電波の特性
- ・さまざまな変調方式
- ・身近な無線サービス

■研修実施結果

両コースとも受講者全員が「参加して良かった」と答えていて、満足度の高い研修となりました。



■平成30年度新規研修

- ・移動系無線通信システム基礎 (5G)

5. おわりに

西日本研修センタは、これからも会員各社様の現場目線の技術でカリキュラムの充実・強化を図り、研修を通じ「会員各社の技術力の向上」「設備・人身事故の撲滅」「品質の向上」等々に貢献していきます。